

保存版

京都市防災マップ

地震編

右京区版

榎原～水尾断層地震が起こると…

京都市防災マップ地震編・右京区版は、京都市に被害をもたらすと想定される地震の中から、右京区に最も大きな被害をもたらすと想定されている「榎原～水尾断層地震」の震度分布を示し、その被害と避難についてまとめたものです。


榎原～水尾断層地震が起こると、右京区の市街地ではほとんどの地域で震度6強、山地では5強から5弱が予測され、家屋倒壊、火災発生、人的被害、ライフラインの機能停止など、大きな被害が想定されています。


いざというときのために、自宅、学校、仕事場など普段の生活の場とその付近の震度、地域の集合場所、広域避難場所、避難所の位置と道順などを確認しておきましょう。

榎原～水尾断層地震で想定される被害		
マグニチュード	M 6.6	
	右京区	京都市全域
家屋被害推定数		
全壊棟数	4,500 棟	21,800 棟
半壊棟数	2,500 棟	13,500 棟
出火件数	9 件	11～40 件
人的被害		
死者	0 人	400～700 人
負傷者	10,600～17,200 人	22,900～38,500 人
避難者（10時間後）	29,300 人	118,200 人
ライフライン被害		
水道 断水戸数	約58,000 戸	約280,000 戸
電気 停電戸数	約3,900 戸	約20,000 戸
ガス 供給停止戸数	62,700 戸	209,100 戸
通信 被災加入数	800	5,000


京都市第3次地震被害想定より


凡例


-  広域避難場所


 避難所


※四角で囲われている避難所の名称は、避難救助拠点を表しています。


 警察


 消防


 病院


 保健センター


 官公庁


 国宝・世界遺産

 JR


 私鉄


 地下鉄


 河川・池

 緊急輸送路

緊急輸送路は、災害時に一般車両の通行が規制されることがあります。

 土流による被害のおそれのある区域：洪流の勾配が15°以上で、人家等が存在し、被害のおそれのある区域

 流路（谷筋）

 急傾斜：傾斜度30°以上、高さ5m以上の急傾斜地（人工斜面を含む）で被害のおそれのある人家等が存在する箇所

なお、想定区域外においても、土砂災害が発生することもありますので、山すそなどでは注意してください。
- 防災メモ

地震のときに避難する場所を家族みんなで確認しておきましょう。

地域の集合場所

避難所

広域避難場所又は避難救助拠点

※ 上記避難先の説明については裏面に記載しています。
- 震度と揺れ等の状況

震度

1～4

震度1 屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がある。


震度2 屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。

震度3 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。


震度4 ほとんどの人が驚く。電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。座りの悪い置物が、倒れることがある。

震度


5弱



●耐震性の低い木造建物は、壁などに軽微なひび割れ・亀裂が入ることがある。




●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは、倒れることがある。




●亀裂や液状化、落石、かけ崩れが発生することがある。まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。

震度


5強



●耐震性の低い鉄筋コンクリート造建物では、壁、梁、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。




●棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。固定していない家具が倒れることがある。




●補強されていないブロック塀が崩れることがある。

震度


6弱



●耐震性の低い木造建物は、互が落下したり、建物が傾いたりすることがある。




●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。




●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。

震度


6強



●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。




●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。




●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山の斜面の崩壊が発生することがある。

震度


7




●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。



●耐震性の低い鉄筋コンクリート造建物では、倒れるものが多くなる。



●広い地域でガス、水道、電気の供給が停止することがある。



●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山の斜面の崩壊が発生することがある。
- 右京区に最も大きな被害をもたらすと想定される「榎原～水尾断層地震」の震度分布を示しています。

凡例

震度1～4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
-------	------	------	------	------	-----

※ ここから北側は左下に記載

※ ここから南側は右上に記載
- 京都市印刷物第220011号 京都市防災マップ●発行元／お問い合わせ先：京都市消防局防災危機管理室 075-212-6792